

## 令和5年度 学校評価 自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立千代田中学校
実施日	令和6年2月15日

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	概ねできている、学年ごとのみならず部会組織を活用し情報共有を行うことができているという肯定的評価があった。その一方で、全職員の共通理解ができているのか不安になる場面も多いという意見もあった。また、「教職員」として「社会人」としての責任や役割の共通理解を図る必要があるという意見もあった。	B	○個人差はあると思いますが、先生方の共通理解を図っていただき学校づくりに取り組んでほしいです。 ○いろいろな意見はあるようですが、、、 ○「教職員」「社会人」として皆共通理解を図れるよう、共通の目標などを立て共有するようご検討ください。 ○教職員・社会人として責任や役割の意識を持っていると信じています。 ○教職員の共通理解ができているか不安になる場面も多いという意見があったことから、今後改善をお願いしたい。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	よくできている、トラブル等様々な諸問題に関して、個人ではなく組織として対応しているという意見があった。その一方、迅速かつ的確ではなく個人に押し付けていると感じる、対応を担任任せにし過ぎてしまうといけないという意見もあった。生徒の安全の確保、救助袋を使っている避難訓練の実施の必要性についての意見もあった。	B	○事故やトラブルが起きたときには、すぐに情報を集めて対応しているように思いました。 ○今後起きるかもしれない災害等から、子どもたちを守る努力を続けてほしいです。 ○対応を担任任せにし過ぎることですが、インシデント、課題管理を共有する等ご検討ください。 ○地域の避難所となっている中学校で市と自治会との協力で協議の場が必要。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(市共通項目)	B	月一回のふれあいデーの設定がしっかりとされている、計画的に休暇を取りやすい環境にあると感じるという意見があった。その一方で、労務管理の意識が低い、会議の終わりの時間を決める必要がある、休憩時間がはっきりしていない、行事や会議の精選、年休の計画的取得の必要性についての意見があった。また、働き方改革も大切だが、時には覚悟を持って子供たちのためにどっぴりと時間をかけることも必要ではないかという意見もあった。	B	○意識的に行っているように思いますが、先生方のそれぞれの感覚もあると感じるので良い方向に改善してほしいです。 ○働き方改革も重要ですが、生徒の教育が一番大切であると思うため、ルールに縛られず、臨機応変に対応してほしい。 ○生徒に全力で向き合うために教職員がA評価を付けられるまでのしほみを。 ○労働管理の意識が低いとの意見があったため、改善を図っていただければと思います。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、主体的・対話的で深い学びのある授業をしている。(市共通項目)	A	学びづくりの視点を持って、授業づくりに取り組もうとしている教員が多く、また、教員が日々研鑽している。タブレット端末を活用して授業展開ができる教員が増えているという意見があった。	A	○授業を拝見する中で回を追うごとに学びが生徒のものになっているように感じます。生徒は楽しそうに学習に取り組んでいました。 ○端末や電子黒板を活用して工夫された授業をしていると思いました。 ○授業参観をさせていただき評価しました。 ○その時の時代に合った授業やツールの活用をしていることは素晴らしいことだと思います。引き続き自己研鑽を続けられるように環境を整備してください。 ○タブレット使用の授業がふえており、先生もタブレット授業の学び合いをお願いします。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	教科指導の中で少人数指導や個別指導が十分になされているという意見の一方、道徳のローテーション授業をもっと取り入れる、道徳の授業研究の必要性、自習時の課題が不十分などの意見があった。また、教員の資質の関係で常に自らの道徳(価値観)を研鑽していく必要があるという意見もあった。	B	○学年・クラス・部活動を通して先生方が生徒へ対応していると思っています。 ○不登校の生徒も減り、いじめに対してもご指導され解消されているようなので。 ○多様性を取り違え自己中心的な考えを持つ人が増えています。道徳を学ぶことで善悪の判断ができ、協調性のある人を育ててほしい。 ○授業参観で教室の雰囲気は楽しそうで、学びあえる様子がうかがえる。 ○いじめの事案が3件あったということであり、「ゼロ」は難しいとしても普段からの啓発をお願いしたい。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	声はやや小さいが、挨拶が良くできている、言葉遣いもおおむねよいという意見の一方、「聞く・聴く・訊く」の指導について研究していく必要があるという意見があった。また、時には矯正・強制する指導も必要ではないかという意見もあった。	A	○とても落ち着いていると思います。あいさつは進んでとはいかないですが、こちらからあいさつするとほとんど返してくれます。 ○あいさつしてくれる生徒が増えたように思いました。 ○コロナ化は心配でしたが本来の千代田中の良さに戻ったと思います。 ○笑顔で挨拶できる子が多いと思います。おとなしい面もありますが引き続き挨拶のできる生徒を育ててください。 ○教職員評価で「矯正・強制する指導も必要ではないか」とあるが、それは指導ですか。導いていますか。 ○これからも千代田中の良き伝統「元気なあいさつ」の励行をお願いします。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のため積極的に取り組んでいる。(市共通項目)	B	職員会議や校内研修等で必要な情報の共有や振り返りシート等の実施がしっかりとされているという意見があった。その一方、不祥事について危うい点もある、倫理確立委員会で教職員の意見の吸い上げが不十分であるという意見があった。また、学校公開の機会が少なく、学校を保護者に見ていただく機会は、生徒だけでなく、教員にも大切だという意見もあった。	B	○不祥事について危うい点があったとのことなので、その点を注意して、安心安全な学校づくりに努めてほしいです。 ○不祥事について危うい点があるということから根本原因の追究を行い、対策を検討するように努めてください。 ○専門知識を教え、共に学ぶのが人間的な対応です。上下関係はありません。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。	B	比較的生徒の話や傾聴できている先生方が多い、ほとんどの教員が生徒を大切にすることを意識しているという意見があった。その一方、生徒の話や傾聴前に指導的になりがちである、上から押しつけるような物言いがいるという意見があった。	B	○不登校の増加が心配です。 ○生徒1人1人に適した対応がなされていると思います。不登校に関しては、より一層、学校と家庭とで連携し減少していくよう取り組んでほしいです。 ○努力されていると思います。 ○難しい年ごろの生徒が多いため、信頼を得ることは大変かと思いますが、傾聴と共感を持って対応できるように努めてください。 ○少ない生徒さん1人1人に向き合って教えていらっしゃる。 ○不登校が必ずしも問題であるわけではないが、様々な課題の集積であることを考えると、今後も柔軟で根強い対応が求められる。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	特別支援学級と通常学級との交流はしっかりと連携を図りながら行っている、夏の研修は有益であったという意見があった。その一方、特別支援教育については、年度初めにきちんと研修する必要があるという意見があった。また、今年度は年度途中でクラスがなくなることがあり、課題が残ったという意見もあった。	B	○今後の教育にとって非常に大切な部分だと思います。研修を含めた取り組みがされているようですので、さらに全体で進めていただけたらと思います。 ○生徒に合った指導がされているように思います。 ○職員研修については計画的に行えるように努めてください。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	校内の掲示物は定期的に更新されており概ね良好である、清掃用具の整備や清掃区域も明確にされているので清掃活動が良くできているという意見があった。その一方、掲示環境を整える必要がある、備品整備を長期休業中にしっかりとやるべき、清掃監督が責任を果たしていないのではないかという意見があった。	A	○各教室、廊下などの掲示物はそれぞれ工夫されていてよいと感じました。 ○いつ訪問しても校舎内も校庭もきれいで整頓されていてご指導のおかげだと思います。 ○備品整備について、いつ・だれが実施するのか計画を立てる等の検討をしてください。 ○学校がPTAや地域・自治会を通して、風通しの良い学校になることを信じています。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	A	HPは各種通信関係など、定期的に更新されている、メールが有効活用されているという意見があった。その一方、学校公開の機会が少ないという意見があった。また、保護者、教職員両者に共通理解が必要な研修を定期的に関っていくべきだという意見もあった。	A	○保護者にはメールを通じて、地域の方には回覧板を通じて学校の情報を流しているのが良いと思います。 ○学校だよりを拝見しています。 ○メールやgoogleフォームは良いツールのため、引き続き活用してほしい。 ○生徒が「学習に意欲的に取り組んでいますか」の評価が悪いのは、学習習慣が定着していないからでしょうか。 ○学校公開や地域との交流がもう少しあるとよいと思います。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	授業の中で外部指導者の活用ができている、講演会等で地域人材の活用もなされている、教育相談部会による情報共有と協議から関係機関に繋がっているという意見があった。その一方、防犯パトロール、通学路点検の協力要請ができていない、不登校については更に関係機関との連携が必要であるという意見があった。	B	○地域の方を講師として授業や講演会を行っていたので、生徒にとって身近に感じることができよかったと思います。 ○外部指導者の活用ができよかったです。PTAと協力してパトロールをお願いします。 ○防犯パトロール・通学路点検については、PTAIに協力をお願いしてください。 ○多機関との連携により不登校、いじめ等への柔軟で多角的な対応をお願いいたします。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたつた教育活動を推進している。	B	小中で連携を図り、連絡会や体験活動、更にはお互いの授業を見あう取り組みが行っている、小中合同研修会が有効であったという意見があった。その一方、特別支援教育での対応が不十分、スタディーウイークの形骸化についての意見があった。	B	○陸上競技のお手伝いや若葉祭での小学生鑑賞があり、児童生徒の交流の場があってよいと思います。 ○引き続き連携を。 ○形骸化となっているイベント等については今一度本来の目的を確認し、必要の有無等を検討してください。